

# くっつき の じで よみとろう

なまえ

5まいめ／小2／2つの 文を よんで、だれが・なにを・どこへ を らんに かこう

ひづけ

2つの 文で 1つの はなしです。2つとも よんでから かこう。

「なにを」は「を」、「どこへ」は「へ」の ついた ことばを □に かこう。

「だれが」は のこりの ひと。「と」の ついた ことばは こたえでは ありません。

「～の」が ついて いる ときは、「の」の あとの ことばだけ かこう。

- 1 ねえさんは がっこうで かばんを もった。  
いもうとと えきへ むかった。

だれが

なにを

どこへ

- 2 こうえんの いぬを ぼくは よんだ。  
ちちと いえへ つれて かえった。

だれが

なにを

どこへ

- 3 みせの さかなを ちちは かった。  
あにと うみへ でかけた。

だれが

なにを

どこへ

- 4 あには いえで てがみを かいた。  
ねえさんと ポストへ だしに いった。

だれが

なにを

どこへ



## くっつき の じで よみとろう【こたえ】

5まいめ／小2／2つの 文を よんで、だれが・なにを・どこへ を らんに かこう

なまえ \_\_\_\_\_

ひづけ \_\_\_\_\_

赤い ところが こたえ。「を」が される ほう、「へ」が どこへ、のこりの ひとが する ほうです。

- 1 ねえさんは がっこうで かばんを もった。  
いもうとと えきへ むかった。

だれが

ねえさん

なにを

かばん

どこへ

えき

- 2 こうえんの いぬを ぼくは よんだ。  
ちちと いえへ つれて かえった。

だれが

ぼく

なにを

いぬ

どこへ

いえ

- 3 みせの さかなを ちちは かった。  
あにと うみへ でかけた。

だれが

ちち

なにを

さかな

どこへ

うみ

- 4 あには いえで てがみを かいた。  
ねえさんと ポストへ だしに いった。

だれが

あに

なにを

てがみ

どこへ

ポスト

【おうちの方へ】される ほうは「を」の字で決まります（語順では決まりません）。

「は」は話題の字なので、『ねこは いぬが おいかける』のように される ほうに付くこともあります。

3つの答えが2文に分かれています。「と」のついた人は答えではありません（ひっかけ）。

1文目だけで書き始めていないか、2文目を読んでから書いているかを見てください。